

今月のトピックス

年末年始の旅客輸送等の動向について

1. 鉄道

① JR（平成17年12月28日～平成18年1月5日）

日本海側を中心とした大雪の影響や羽越線列車事故による運休もあったが、全体としては対前年同期比2%増と好調であった。

新幹線については、大雪の影響により運休のあった秋田新幹線を除き、総じて前年とほぼ同水準ないし前年を上回り好調であった。

主要区間における特急(新幹線を含む)・急行列車上下計の断面輸送量(単位:千人)

会社名(区間数)	期間	H16.12.28 ～H17.1.5	H17.12.28 ～H18.1.5	前年比(%)
JR北海道 (4)		351	350	100
JR東日本 (18)		3,828	3,879	101
JR東海 (10)		2,803	2,846	102
JR西日本 (11)		2,088	2,162	104
JR四国 (3)		132	127	96
JR九州 (3)		483	481	100
計 (49)		9,685	9,845	102

新幹線旅客輸送人員前年比(%)

東海道	山陽	東北	上越
102	105	100	109
長野	山形	秋田	九州
100	100	97	103

② 大手民鉄16社(平成17年12月31日～平成18年1月3日)

関東地区において気温の低下等天候に恵まれなかったこともあり、大手民鉄全体では対前年同期比4.5%減となった。

大手民鉄 定期外旅客輸送量 (単位:千人)

会社	期間	H16.12.31 ～H17.1.3	H17.12.31 ～H18.1.3	前年比(%)
関東9社		18,921	17,713	93.6
関西5社		9,058	8,816	97.3
その他2社		2,452	2,543	103.7
計		30,431	29,072	95.5

※関東9社は、東武、西武、京成、京王、小田急、東急、京急、東京メトロ、相鉄。関西5社は、近鉄、南海、京阪、阪急、阪神。
 その他2社は、名鉄、西鉄。

2. 国内航空（平成17年12月28日～平成18年1月9日）

日本海側は降雪を伴う天候であったが、太平洋側は比較的穏やかな天候であったこともあり、対前年同期比2.2%増と好調であった。

方面別では、沖縄方面が特に好調であった。

北海道国際航空及びスカイネットアジア航空では新規路線の開設により高い伸び率となっている。なお、ピークは下りが12月29、30日、上りが1月3、4日であった。

（単位：千人）

会 社 \ 期 間	H16.12.28 ～H17.1.9	H17.12.28 ～H18.1.9	前年比 (%)
日本航空グループ	1,631	1,648	101.0
全日本空輸グループ	1,610	1,629	101.2
スカイマークエアラインズ	85	88	102.8
北海道国際航空	41	60	144.5
スカイネットアジア航空	32	50	154.5
計	3,399	3,474	102.2

3. 国際航空（平成17年12月28日～平成18年1月9日）

廃止・減便された路線があることや中国路線が回復しきれていないこともあり、対前年同期比3.4%減となった。

方面別（日本発）では、日本航空グループは米大陸、東南アジア、韓国線及び台湾線、全日本空輸グループは台湾線及びアジア線が好調であった。

なお、出国のピークは12月29日、1月2～4日、帰国のピークは1月3～4日、7～9日であった。

（単位：千人）

会 社 \ 期 間	H16.12.28 ～H17.1.9	H17.12.28 ～H18.1.9	前年比 (%)
日本航空グループ	583	562	96.5
全日本空輸グループ	165	160	97.0
計	748	722	96.6

※日本発着合計

（参考）日本航空グループの日本発方面別輸送実績（単位：人、%）

路 線	ホルル	米大陸	欧州	東南アジア	オセアニア	グアム	韓国	中国	台湾
旅客数	39,677	30,698	28,365	68,453	16,052	14,482	32,131	29,488	21,028
前年比	84.2	104.2	93.2	101.6	92.6	63.5	104.3	95.9	108.9

※グアムについては、前年の「グアム・サイパン」との比較。

(参考) 全日本空輸グループの日本発方面別輸送実績 (単位: 人、%)

路線	米州	欧州	中国	台湾	アジア	ホノルル・グアム
旅客数	21,530	19,121	41,294	3,789	53,546	16,919
前年比	88.0	98.0	82.5	130.6	114.5	91.1

4. 主要旅行業者の主催旅行の取扱旅行客数(平成17年12月27日～平成18年1月4日)
 旅行業者が取り扱った旅行客数をみると、国内旅行(主要5社)については対前年同期比1.4%増、海外旅行(主要6社)については対前年同期比2.2%増となった。

取扱旅行客数 (単位: 千人)

	H16.12.27 ～H17.1.4	H17.12.27 ～H18.1.4	前年比(%)
国内旅行	710	720	101.4
海外旅行	130	133	102.2

※主な旅行業者は、JTB、東急、日本旅行、阪急交通社、近畿日本ツーリスト、ジャルパック(海外旅行のみ)

5. 高速道路(平成17年12月27日～平成18年1月4日)
 全国の高速道路の利用台数は対前年同期比6.2%増と軒並み好調であった。
 なお、混雑のピークは、上り下りとも12月27日及び1月3日であった。

高速道路利用台数(日平均) (単位: 千台)

区 分	期 間	H16.12.27 ～H17.1.4	H17.12.27 ～H18.1.4	前年比(%)
	全国高速道路		3,495	3,711
道央自動車道		66	67	101.7
東北自動車道		218	235	108.1
関越自動車道		151	168	111.0
東名高速道路		363	387	106.4
中央自動車道		192	204	106.5
名神高速道路		223	234	105.2
東名阪自動車道		198	199	100.3
山陽自動車道		148	159	107.3
九州自動車道		201	213	106.1